

 大府市長 岡村 秀人	愛知県 <h1>大府市</h1>	<b>【データ】</b> 人口：92,414人 世帯数：39,111世帯 面積：33.66km <sup>2</sup> 市の木：クロガネモチ 市の花：クチナシ 特産物：ブドウ、ナシ、タマネギ、 木の山芋 <small>やまいも</small> [平成31年3月末現在]
	みんな輝き 幸せ感じる 健康都市   市章 健康づくりシンボルマーク	

昭和45年の市制施行以来、まちづくりの基本理念は「健康都市」ひとすじ「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現を目指します

### 【健康都市おおぶ】



平成18年に市民公募で選ばれた健康づくりマスコットキャラクター「おおぶちゃん」。体のかたちは大府市の地形、明るい黄色は元気のしるし、頭の花は市の花クチナシ。タスキをかけて未来への健康の橋渡し役を務めます。平成29年8月に、これまでの活躍が認められ、市の公式マスコットキャラクターとなりました。  
 ゆるキャラグランプリ2018では、前回42位から大躍進し、**総合6位**にランクインしました！！



OBU オレンジリングモニュメント。認知症の人やその家族が安心して暮らすことができるように、温かく見守る応援者である「認知症サポーター」の証しとなる「オレンジリング」をモチーフにしています。

**大府市の特徴** | 大府市は、知多半島のつけ根に位置し、名古屋市に隣接しています。市の中央をJR東海道本線が走り、北部に伊勢湾岸自動車道、西部に知多半島道路を有するなど、交通アクセスに恵まれています。良好な住宅地の形成や子育て支援の充実等により人口も着実に増加し、住環境と産業と自然が調和した都市として発展しています。東洋経済新報社が毎年発表している「**住みよさランキング**」2018年版では、全国814の市区の中で、**本市が6位に輝きました！**

**健康都市おおぶのあゆみ** | 大府市は、第1次総合計画(昭和49年)から一貫して「健康都市」の実現を都市目標に掲げ、様々な健康づくり施策を進めてきました。昭和62年には、市民総ぐるみで健康増進を図るため、「健康づくり都市宣言」を行い、平成18年には、WHOの提唱する健康都市連合及び健康都市連合日本支部に加盟しました。

**ウェルネスバレー構想** | 大府市の南部には、国立長寿医療研究センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター、認知症介護研究・研修大府センターなど、健康・長寿に関する研究機関や施設が集積した「ウェルネスバレー」があります。だれもが幸せを感じられる「幸齢(こうれい)社会」の実現を目指す「ウェルネスバレー構想」を掲げ、関係機関との交流や連携を進めながら先駆的な取組を推進し、全国に情報発信しています。

**認知症不安ゼロのまち おおぶ** | 大府市は、平成29年12月に、全国初となる「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定し、「認知症を予防できるまち」「認知症になっても安心して暮らすことのできるまち」の実現に向けた取組を推進しています。平成30年12月には、認知症に対する不安のないまちづくりのシンボルとして、JR大府駅西口ロータリーにOBUオレンジリングモニュメントを設置しました。

## ◆市役所庁舎の敷地内禁煙等がスタート！受動喫煙や喫煙による健康被害のないまちへ

大府市では、かねてより「健康都市」としてすべての公共施設を屋内禁煙にするとともに、子どもや乳幼児が多く利用する保育園、小中学校、保健センター、児童センターなどを敷地内禁煙とするなど、受動喫煙防止対策に取り組んできました。今回、平成30年7月の改正健康増進法の趣旨や内容を踏まえ、同法の施行に先駆け、平成31年4月より市役所庁舎、児童老人福祉センター、デイサービスセンターの敷地内禁煙を開始しました。



【敷地内禁煙となった市役所庁舎】

また、禁煙に取り組む市民を後押しするため、新たに禁煙外来治療にかかる費用の一部助成をスタートさせ、受動喫煙や喫煙による健康被害を防ぐための取組を積極的に推進しています。

## ◆「食べる機能健診」と「栄養パトロール」でフレイル対策を強化！

大府市は、高齢者のフレイル対策に力を入れています。

市内の75歳以上の方に実施している「プラチナ長寿健診（認知症予防健診）」に加え、平成30年度から「食べる機能健診」を実施しています。これは、日本老年歯科医学会が位置づけた「口腔機能低下症の診断基準」に基づき、口の中の細菌数、乾燥状態、嚙む力、舌・唇の運動機能など7つの検査を実施した後、歯科衛生士による保健指導を行うもので、オーラルフレイルの予防や早期発見を目的としています。



【栄養パトロールの様子】

また、「栄養パトロール」事業では、管理栄養士が75歳以上の方を個別訪問し、詳細なアセスメントを行った上で、食を中心とした生活全般や低栄養予防のための継続支援を行い、必要に応じて医療や介護サービス等につなげています。

## ◆歩きたくなるまちづくりの推進

大府市は、身近で手軽な健康づくりとして、ウォーキングを積極的に推進しています。

河川堤防などを活用して緑道を整備し、各所にウォーキングサインを設置するなどのハード整備を進めながら、身近な地域における安全で快適なウォーキングコースづくりを進めています。

また、上記のウォーキングコースを活用して、健康づくり推進員が市民の誰もが参加できる「みんなでウォーキング！」を開催し、日常的なウォーキングの機会を提供しています。年1回開催する「大府シティ健康ウォーキング大会」には、例年700名以上の市民が参加するなど、多くの市民がウォーキングに親しんでいます。



【鞍流瀬川緑道に整備した飛び石】

また、運動不足になりがちな働く世代をメインターゲットに、平成29年度から実証を行っている「大府市健康プログラム」では、活動量計を使って歩数を管理し、グループ単位で歩数を競い合うゲーム性の高いプログラムを提供し、40～60歳男性を中心に歩数が有意に増加するなど、一定の事業の効果が確認されました。今年度は事業規模を拡大し、事業化に向けた詳細な分析・評価と持続可能なプログラム開発を進めていきます。

担当：大府市役所健康都市推進局健康都市推進課健康都市推進係  
〒474-8701 愛知県大府市中央町五丁目70番地  
TEL:0562-45-6226 FAX:0562-47-7320 E-mail:kenkotoshi@city.obu.lg.jp